

Brush

傳統
工法



粗朶

繼承

Wood

日本粗朶工法協會

粗朶には私たちの知らない多くの利点があります。

粗朶とは？

粗朶とは、里山の広葉樹（樺、楡、桜、栗、櫟 など）から切り取った木の枝のことです。粗朶に使う広葉樹は、切り株からまた生えてくるため、里山管理・再生産可能な資源です。また粗朶は柔軟性に富み、河床・海底の洗掘に応じて屈曲する特長を持っています。近年、粗朶を使用した護岸工事は、多孔質構造により小魚や水生生物のすみかになる効果があるとして、各方面で見直されてきています。粗朶は、多自然型川づくりに適した天然素材として、優秀な土木資材なのです。



山から川へ

粗朶単床

ソダタンショウ



河床変動が発生しない緩流河川・下流域での護岸・根固めに適しています。

粗朶沈床

ソダチンショウ



緩流河川及び海岸の洗掘防止の工事に適しています。

粗朶工法による 水辺環境の創出

日本では古来から、木材や石を利用した伝統的な災害復旧工事が数多く行われてきました。これら伝統工法は、現代の治水対策にとっても十分に機能する優れたものも少なくありません。

私たち、日本粗朶工法協会は、日本古来の伝統工法を継承し、正しい技術を全国に普及発展させながら、地球環境への貢献に尽力していきたいと考えております。



粗朶によって支えられた水底は、多量多様な生物が生息する空間となります。



2005年8月25日
建設通信新聞
当協会の発足と、事業活動の一環として行われた、二ヶ領せせらぎ館「夏休み多動水体験」イベントでの、子供たちへの技術指導の記事が掲載されました。



粗朶柵工

ソダサクコウ



柵と粗朶を用いた簡易的工法です。護岸の他に山林道・公園の遊歩道の土留にも適しています。



栗石粗朶工

グレイシソダコウ



法覆工として用いられ、粗朶中の栗石部は小動物に配慮した空間の多い構造となっています。

連柴柵工

レンサイサクコウ



流れがやや速い箇所の護岸工として用いられ、多孔性を活用し、小魚や昆虫類の生息空間をつくりだします。



柳枝工

リュウシコウ



柳の群生地をつくりだします。柳の生育により法面の護岸を安定させる工法です。

日本粗朶工法協会

Japan Brushwood Method Association

事務局 / 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-6-7 朝日生命三鷹ビル7F (株) サンプレス内

TEL. 0422-36-6101 FAX. 0422-36-6103

会員各社

有限会社飯島建設

秋田県秋田市飯島美砂町6-22
TEL 018-846-2795

若月建設株式会社

新潟県新発田市小戸886-1
TEL 0254-31-4111

有限会社霞ヶ浦粗朶組合

茨城県石岡市東田中479
TEL 0291-32-2211

株式会社サンプレス

東京都武蔵野市中町1-6-7朝日生命三鷹ビル7F
TEL 0422-36-6101

株式会社小平建設

長野県駒ヶ根市赤穂4583-1
TEL 0265-83-4111

井納木材株式会社

岐阜県本巣市文殊678-1
TEL 0581-34-3111

重機建設株式会社

高知県幡多郡大月町弘見1107-1
TEL 0880-73-0011

株式会社多自然テクノワークス

熊本県熊本市石原3-9-36
TEL 096-349-7671

お問合せ